

③ 在宅生活の継続に寄与する可能性のあるサービス

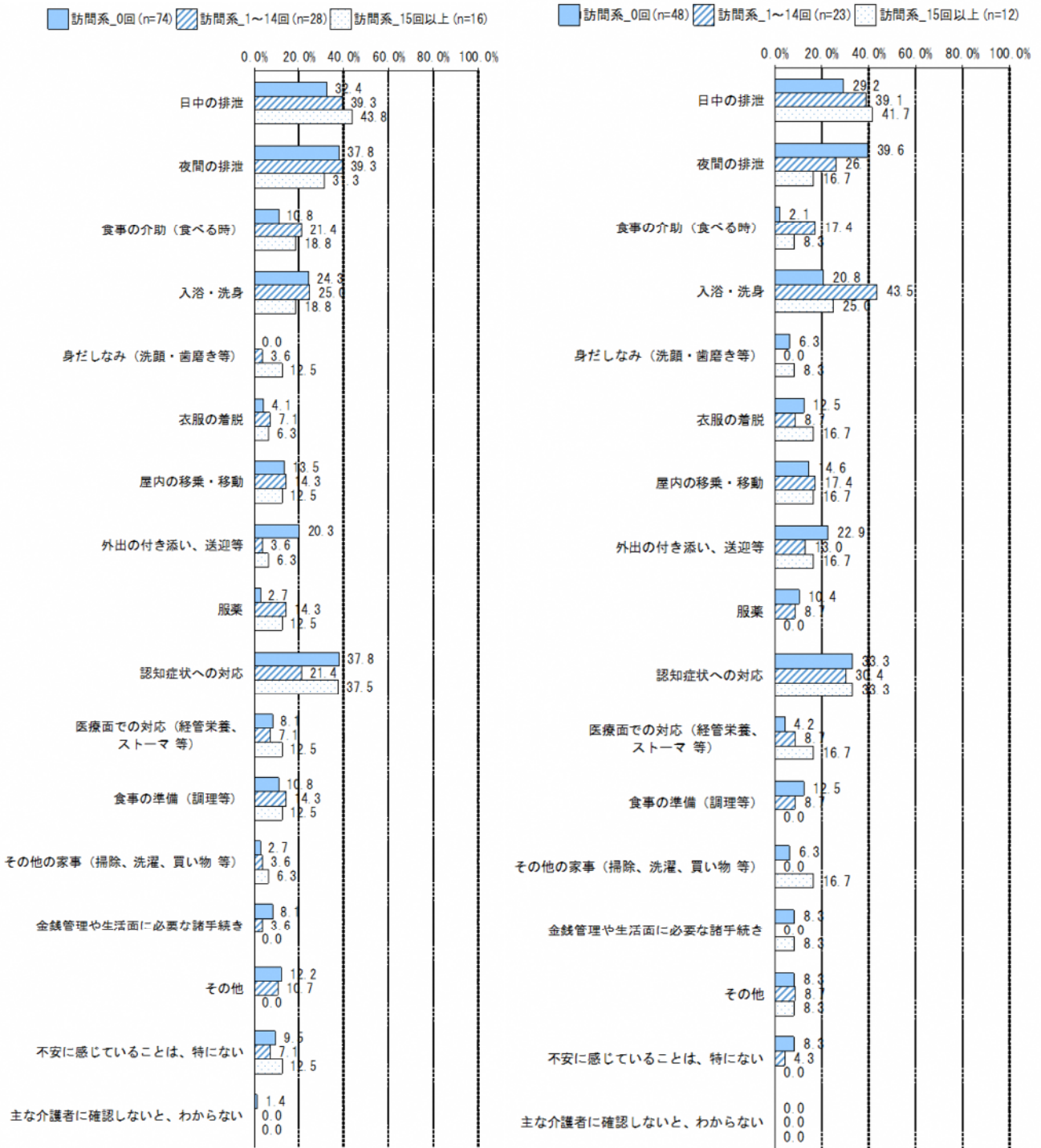
【訪問系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「外出の付き添い、送迎等」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「夜間の排泄」「入浴・洗身」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】

[今回調査 (R5年度)]

[前回調査 (R2年度)]



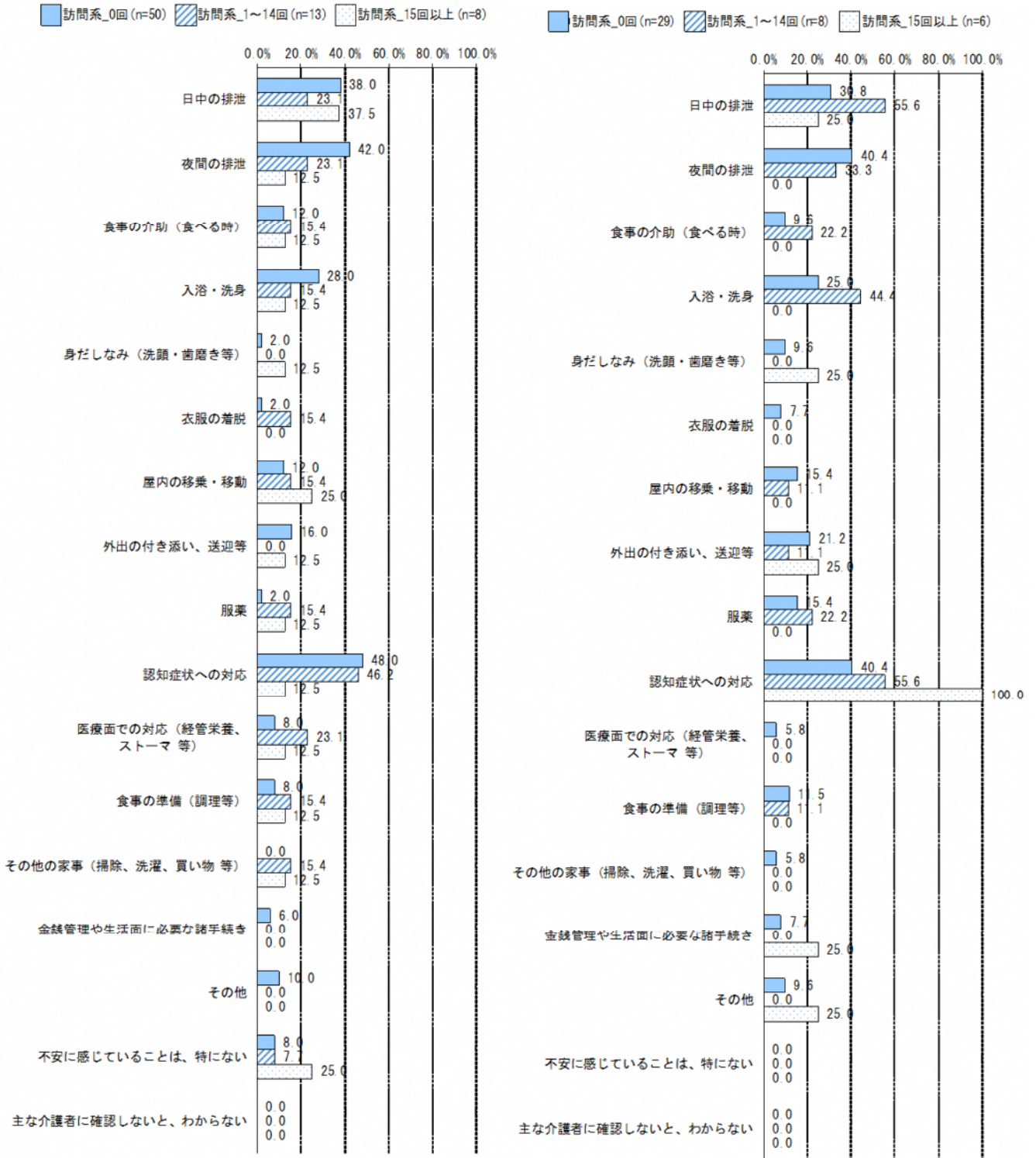
【訪問系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

- 認知症自立度Ⅲ以上で訪問系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 訪問系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「認知症状への対応」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



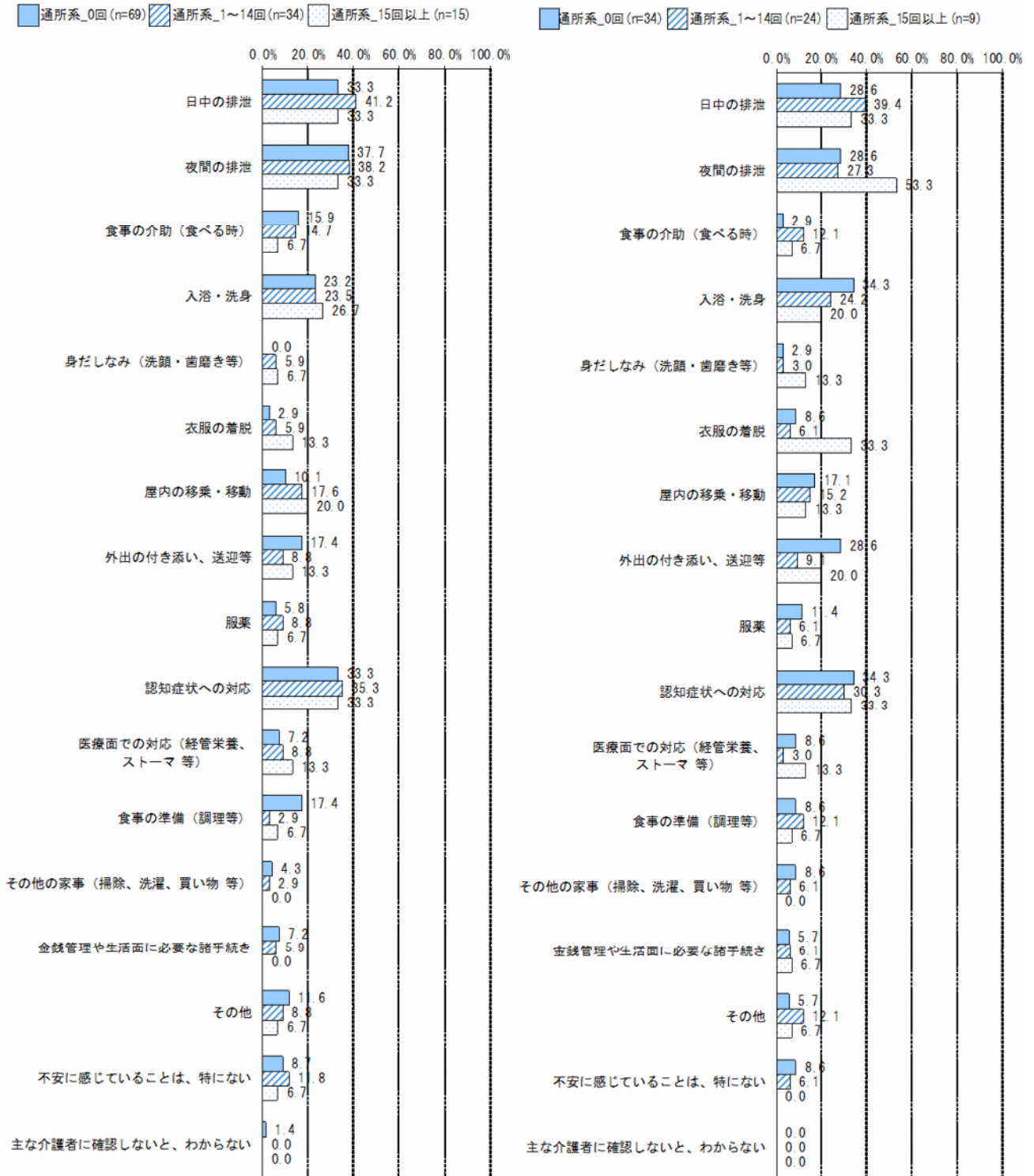
【通所系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 通所系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて「夜間の排泄」「食事の介助（食べる時）」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



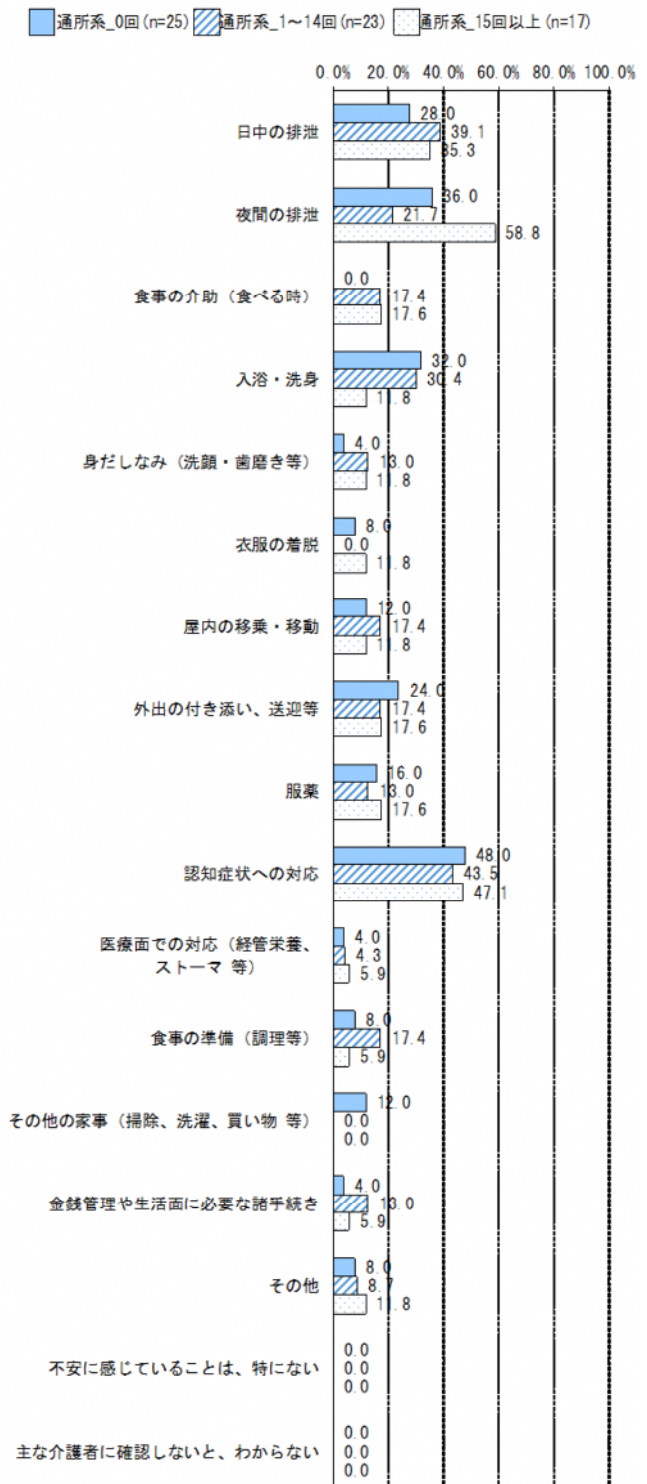
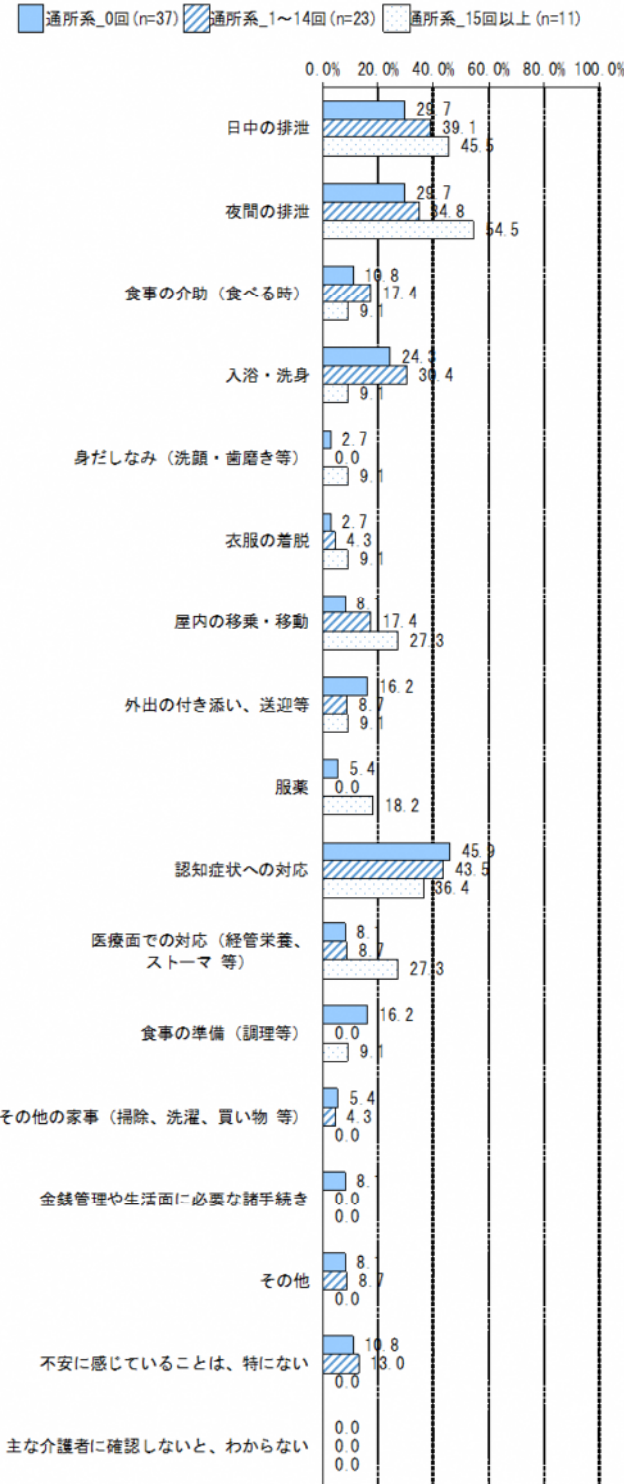
【通所系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

- 認知症自立度Ⅲ以上で通所系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「外出の付き添い、送迎等」「認知症状への対応」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 通所系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「入浴・洗身」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



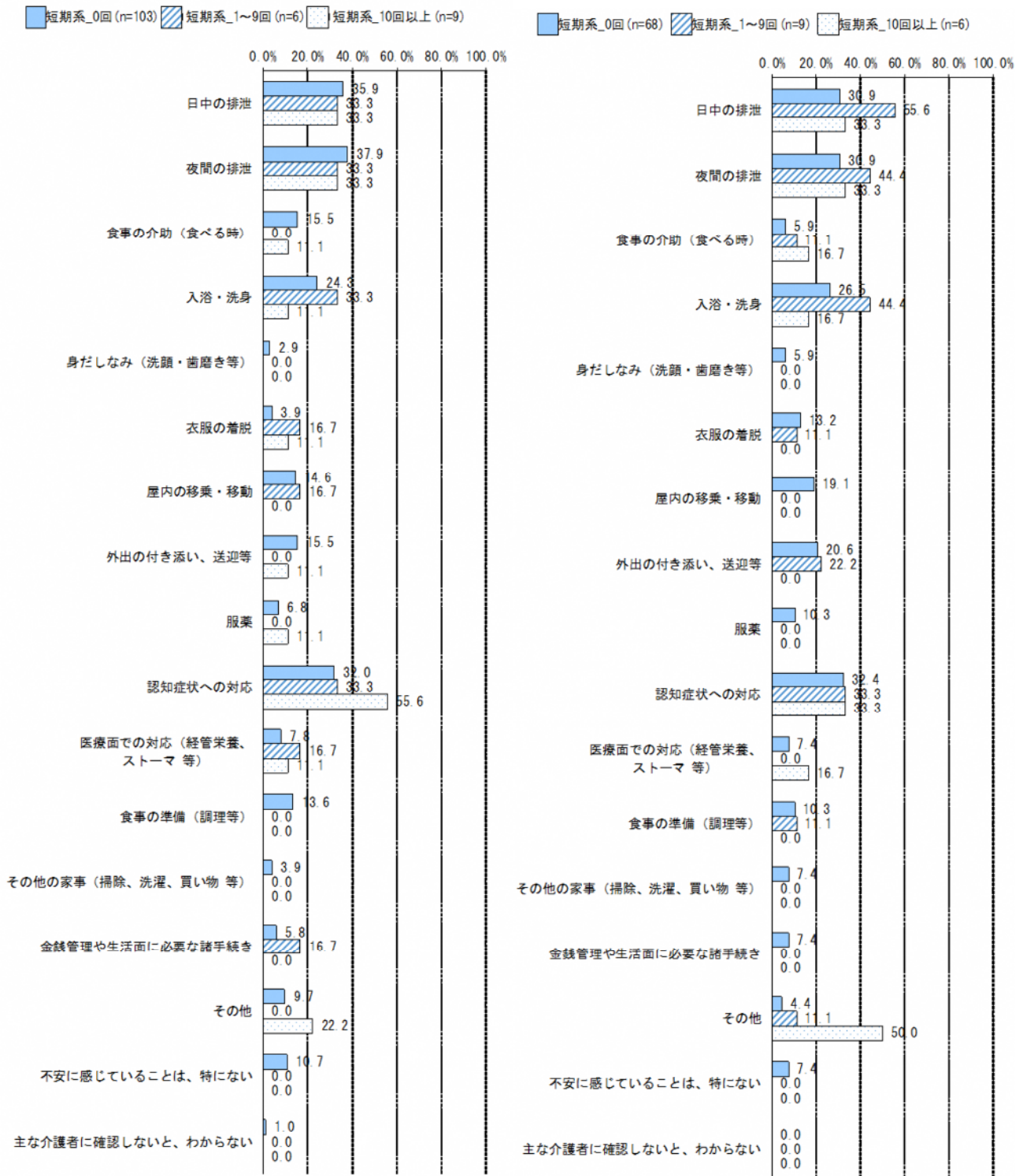
【短期系サービスの利用回数（要介護3以上）】

- 要介護3以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「夜間の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 短期系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて「入浴・洗身」「屋内の移乗・移動」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（要介護3以上）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



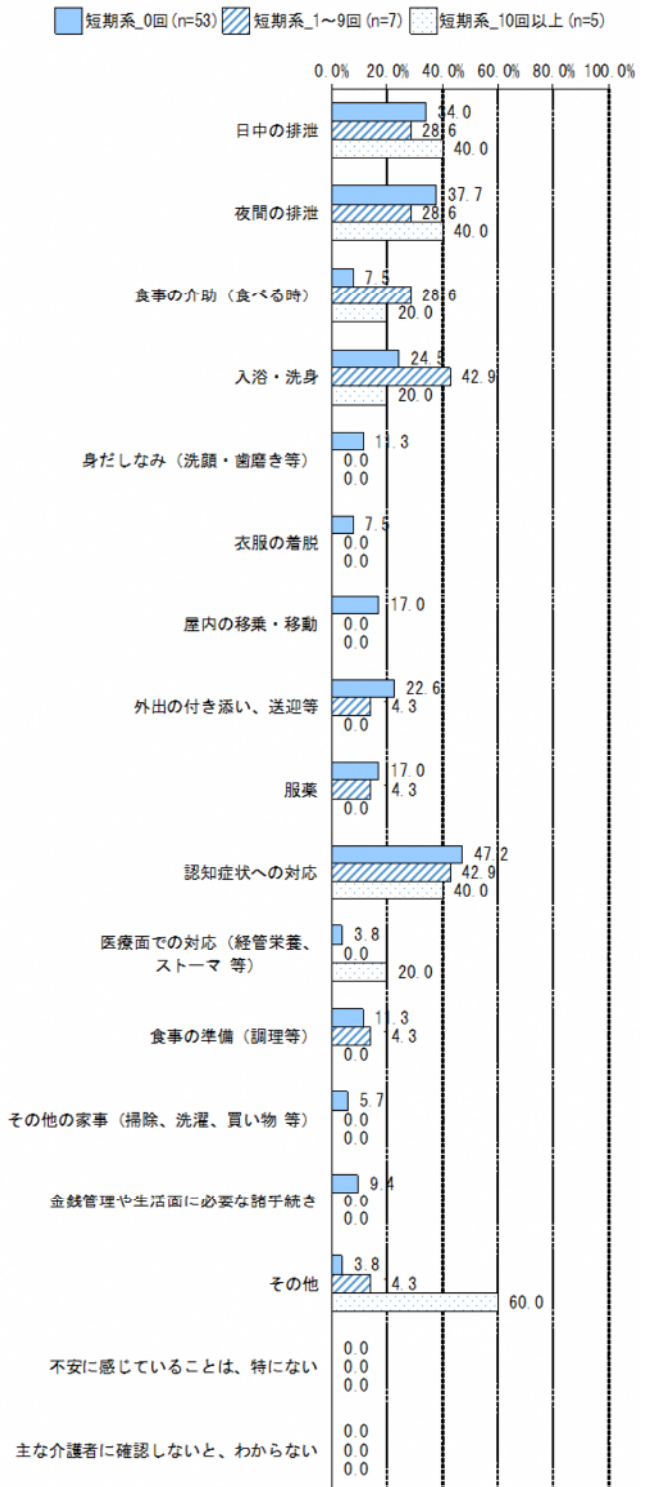
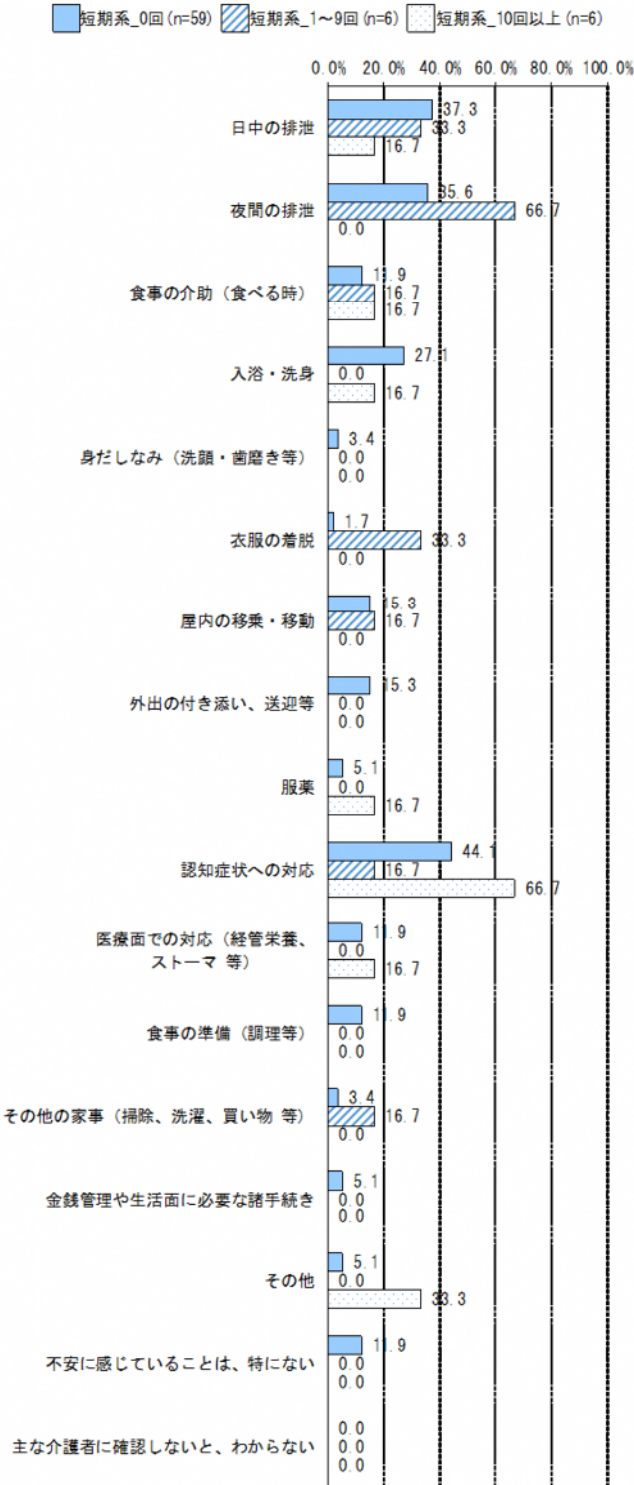
【短期系サービスの利用回数（認知症自立度Ⅲ以上）】

- 認知症自立度Ⅲ以上で短期系サービスを利用している人では利用していない人に比べて、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」を不安に感じる介護者の割合が少なくなっています。
- 短期系サービスを月15回以上利用している人では14回以下の人に比べて、「日中の排泄」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」が少なくなっています。

【主な介護者が不安に感じる介護等(3LA)（認知症自立度Ⅲ以上）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの検討

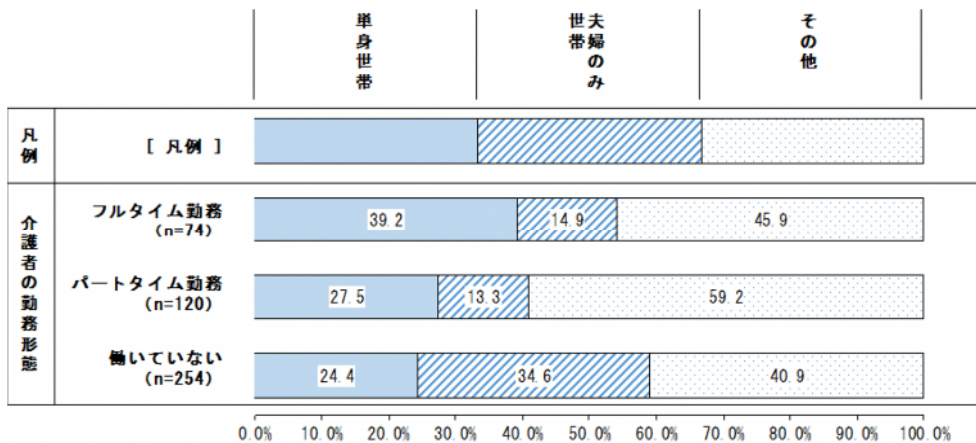
① 就労継続が困難になり得る状況

【調査の対象者の世帯類型】

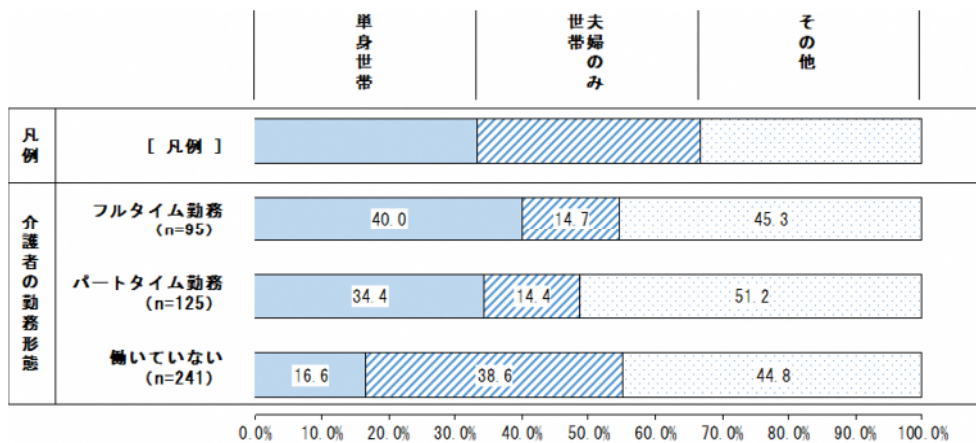
- 主な介護者がフルタイムで働いている人のうち要介護者が「単身世帯」である人は 39.2%、パートタイムで働いている人のうち要介護者が「単身世帯」である人は 27.5% となっています。
- 前回調査と比べると、パートタイムで働いている人のうち要介護者が「単身世帯」である人が少なく、一方で働いていない人では多くなっています。

【調査の対象者の世帯類型】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

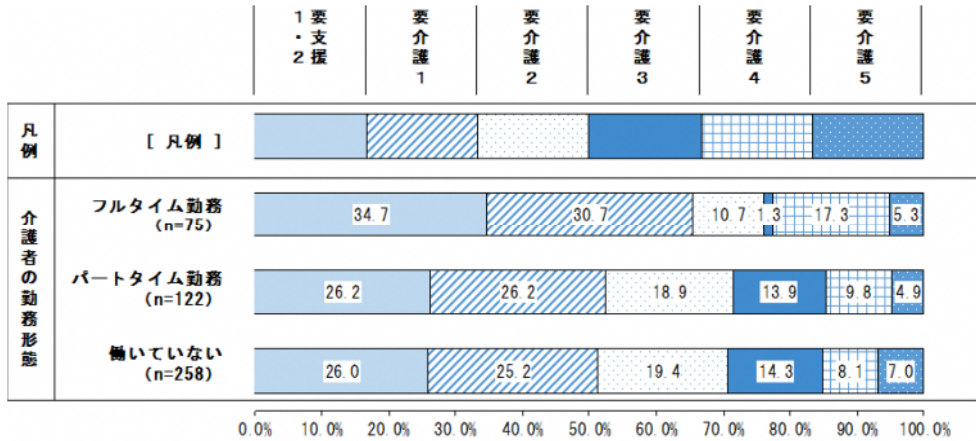


【調査の対象者の要介護度】

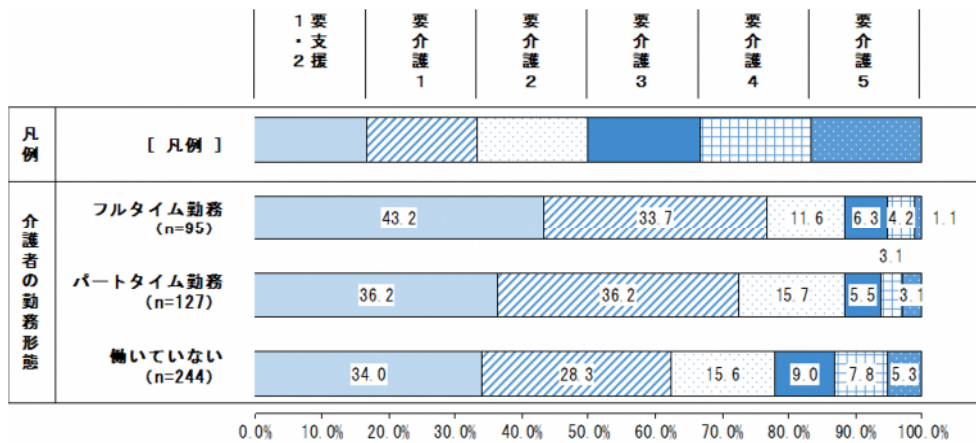
- 主な介護者がパートタイムで働いている人、働いていない人ではフルタイムで働いている人に比べて要介護者が「要介護1」以上である人が多くなっています。
- 前回調査と比べると、いずれの区分でも要介護者が「要介護1」以下である人が少なくなっています。

【調査の対象者の要介護度】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

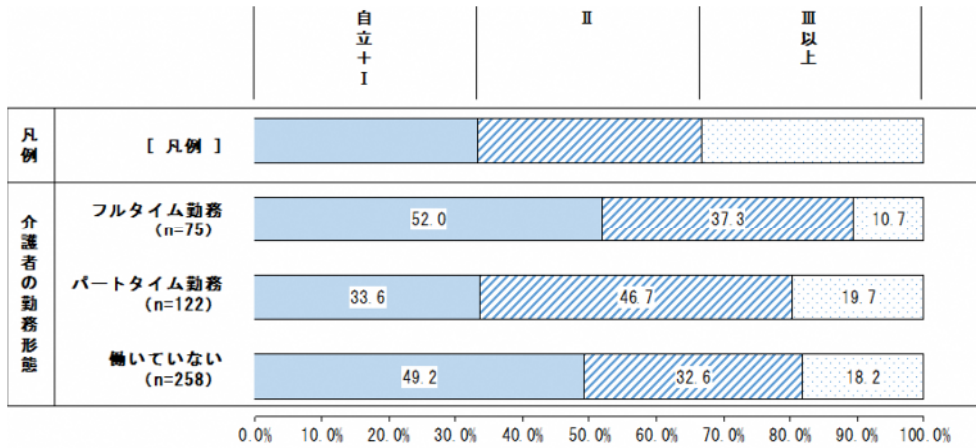


【調査の対象者の認知症自立度】

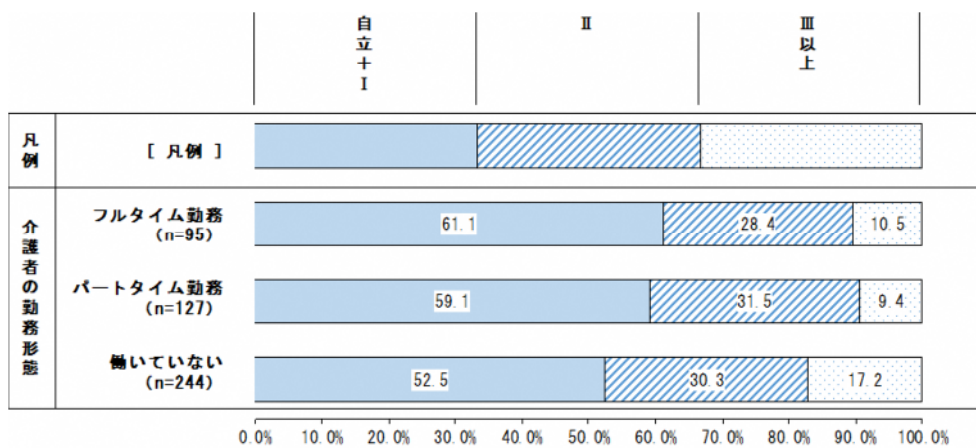
- 主な介護者がフルタイムで働いている人では、要介護者の認知症自立度「Ⅲ以上」が10.7%であるのに対し、パートタイムで働いている人、働いていない人では約2割となっています。
- 前回調査と比べると、働いている人で「Ⅱ」以上が多くなっています。

【調査の対象者の認知症自立度】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

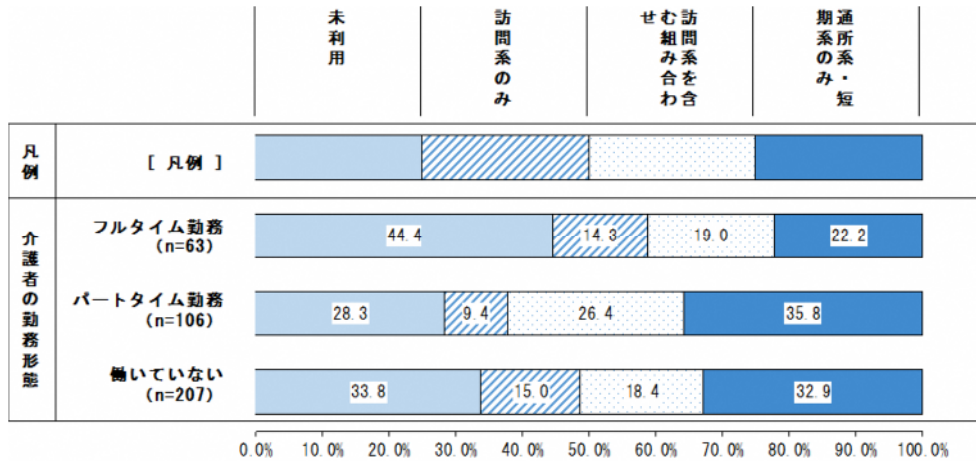


【サービス利用の組み合わせ】

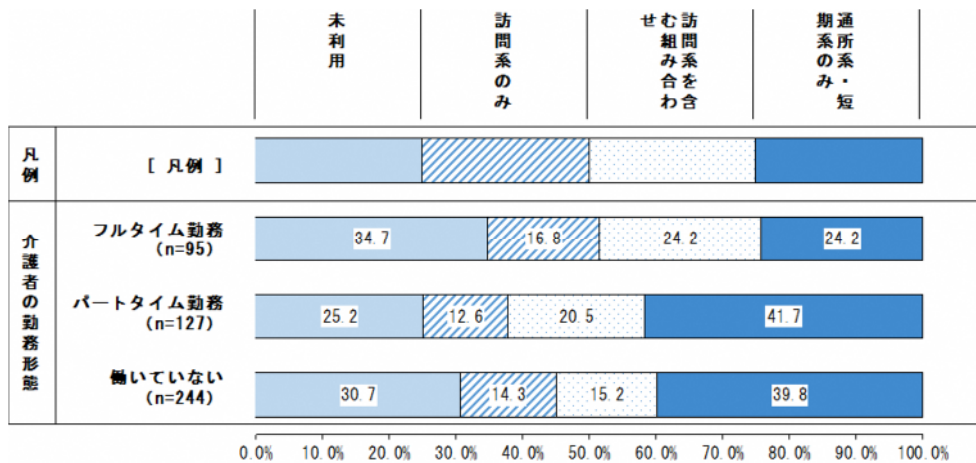
- 主な介護者がパートタイムで働いている人、働いていない人では「通所系・短期系のみ」が3割以上とフルタイムで働いている人に比べて多くなっています。また、パートタイムで働いている人では働いていない人に比べて「訪問系を含む組み合わせ」が多くなっています。
- 前回調査と比べると、フルタイムで働いている人では「未利用」が多くなっています。

【サービス利用の組み合わせ】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

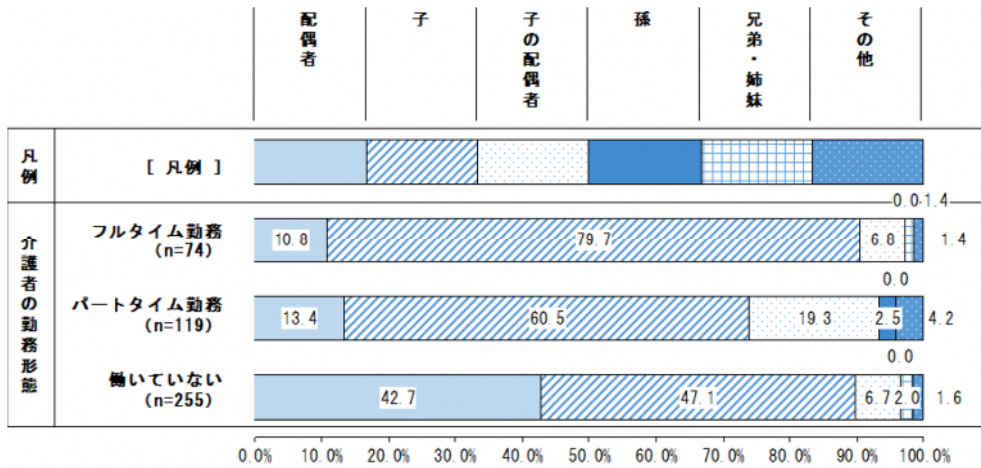


【主な介護者】

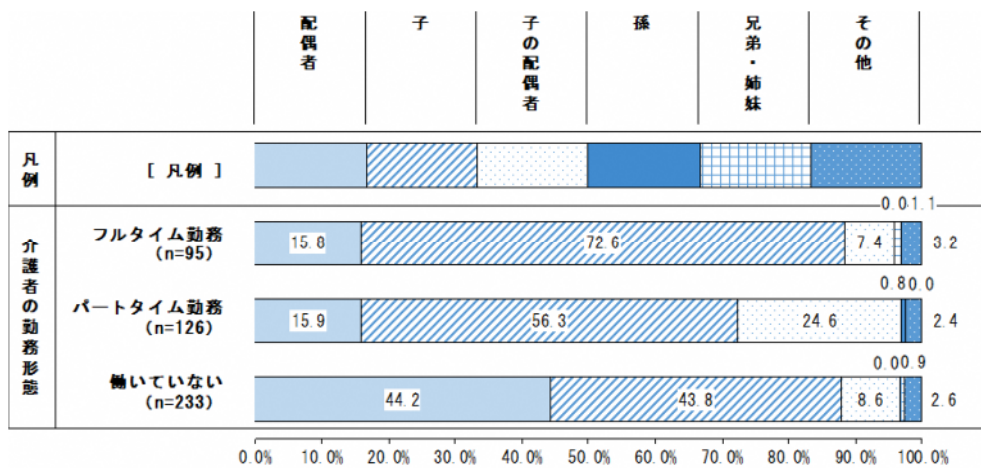
- 働いていない人では「配偶者」が42.7%と働いている人に比べて多くなっています。
- 前回調査と比べると、フルタイムで働いている人では「配偶者」が少なく「子」が多くなっています。また、パートタイムで働いている人では「子の配偶者」が少なく「子」が多くなっています。

【主な介護者】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

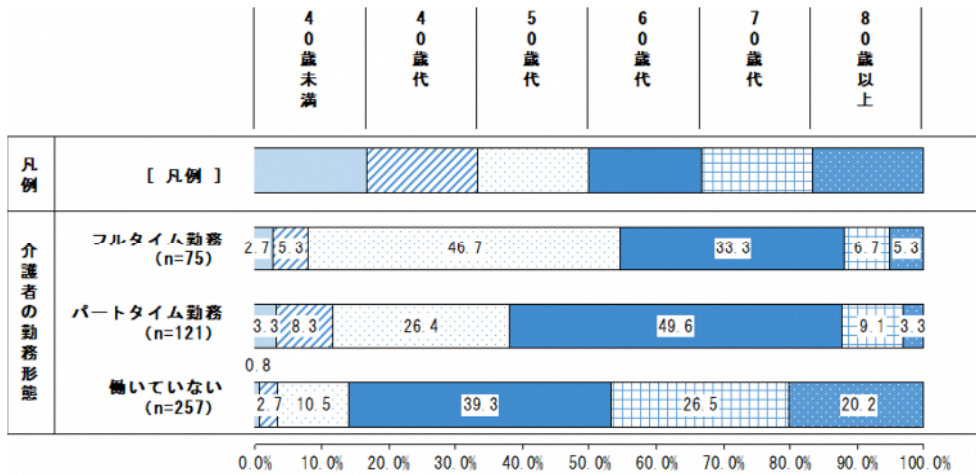


【主な介護者の年齢】

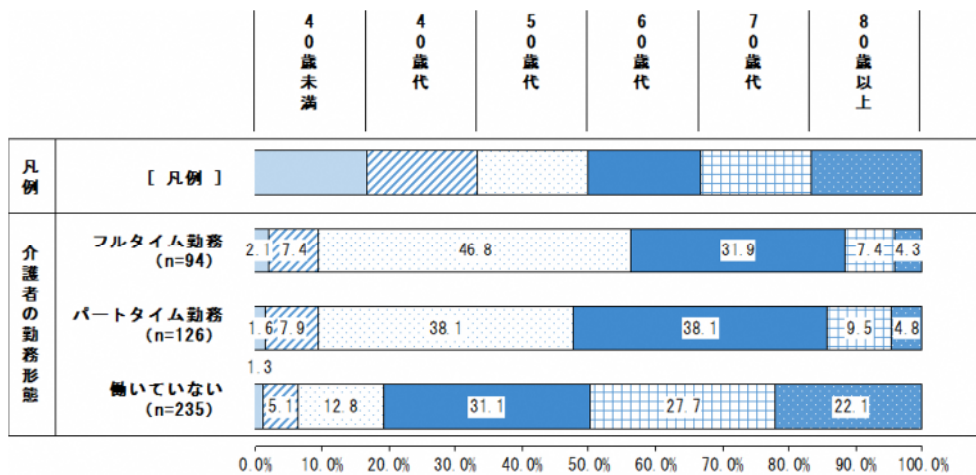
- 「60 歳代」以上は、フルタイムで働いている人では 45.3%、パートタイムで働いている人では 62.0%、働いていない人では 86.0%となっており、働いていない人では「70 歳代」以上が 46.7%となっています。
- 前回調査と比べると、パートタイムで働いている人、働いていない人では「50 歳代」以下が少なく「60 歳代」以上が多くなっています。

【主な介護者の年齢】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

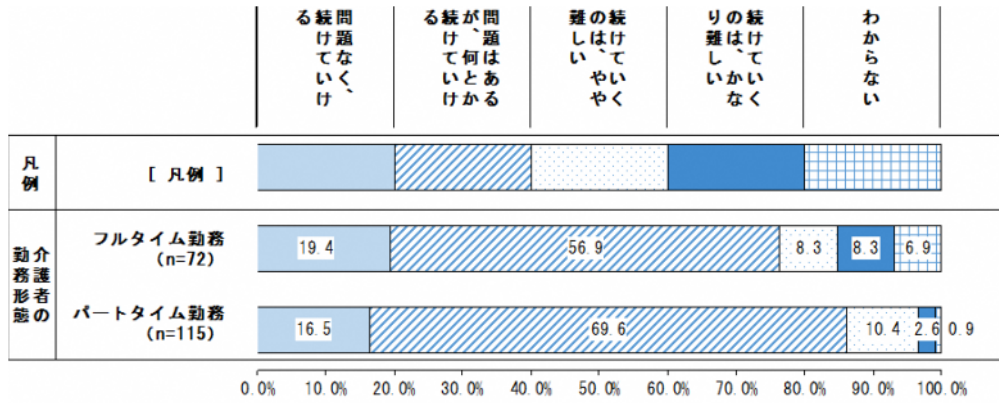


【介護者の勤務形態】

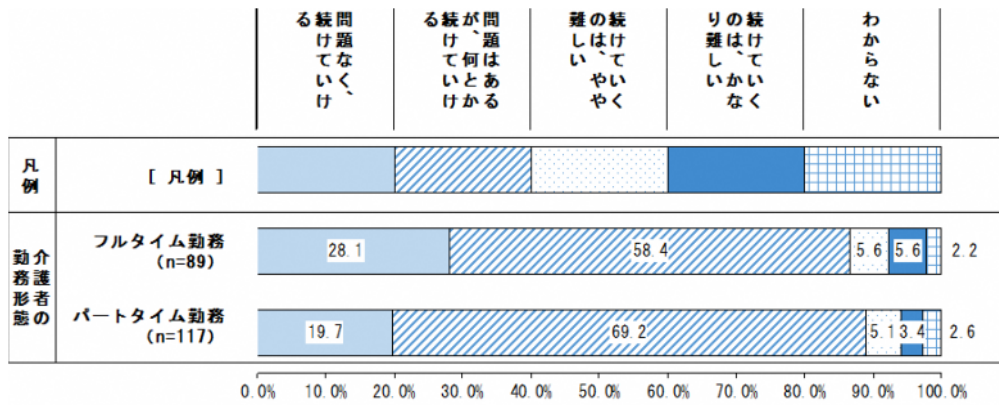
- フルタイム勤務者ではパートタイム勤務者に比べて「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」が少なく、「続けていくのは、かなり難しい」が 8.3%となっています。

【今後の仕事と介護の両立】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

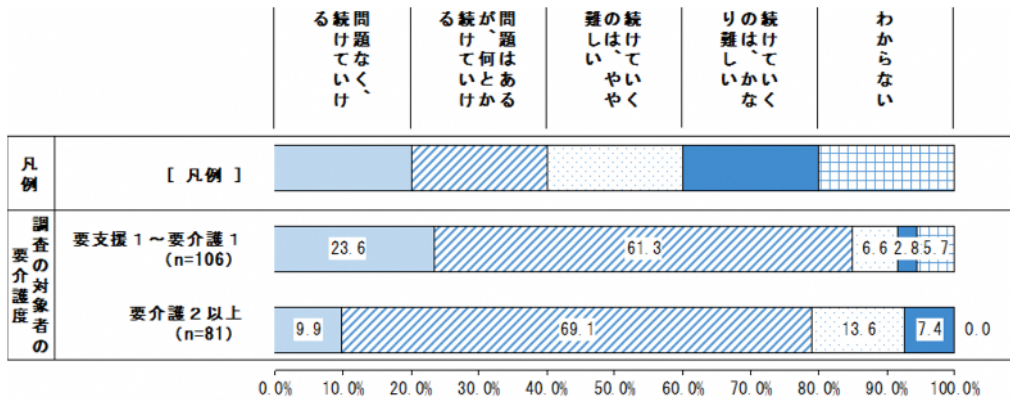


【調査の対象者の要介護度】

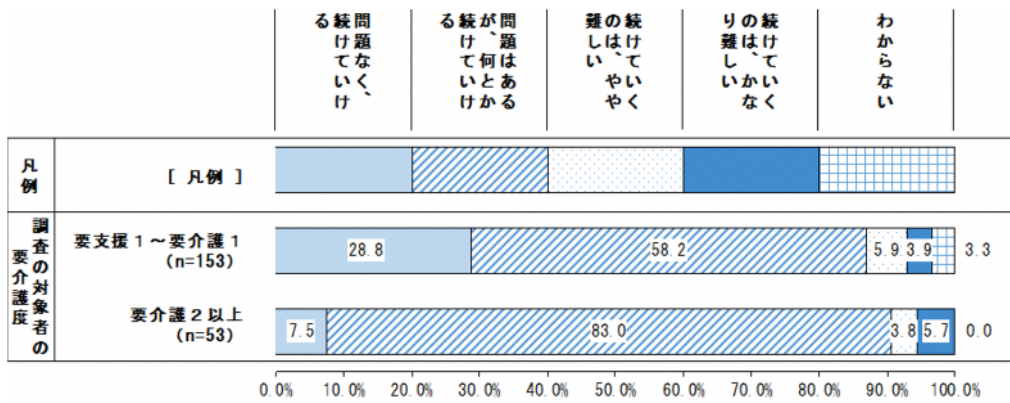
- 要介護2以上では要介護1以下に比べて「問題なく、続けていける」が少なく、「続けていくのは、かなり難しい」が7.4%となっています。

【今後の仕事と介護の両立】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



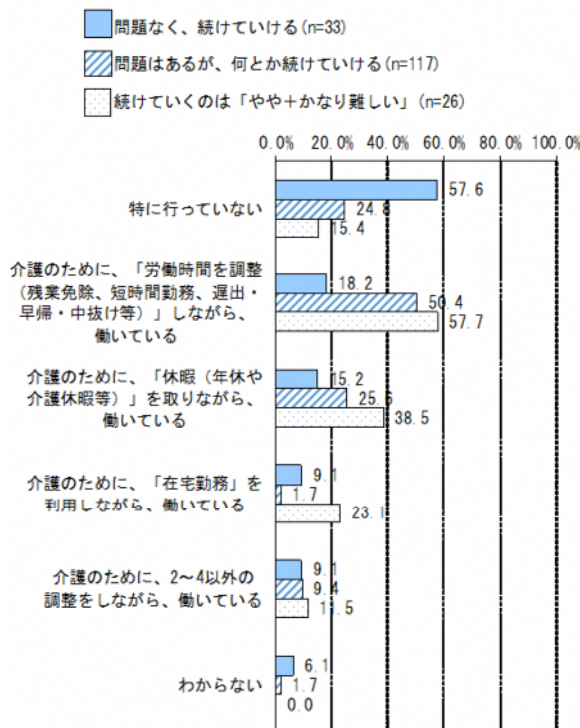
② 就労継続のために必要な支援

【今後の仕事と介護の両立】

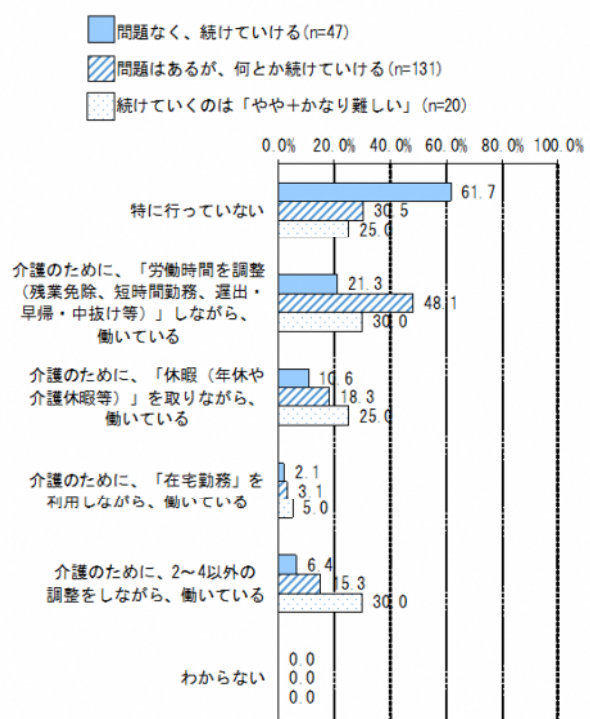
- 問題なく、続けていける人では、働き方の調整を「特に行っていない」が 57.6%であるのに対し、問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では約2割となっています。
- 問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では、「介護のために労働時間を調整しながら働いている」「介護のために休暇を取りながら働いている」が多くなっています。
- 続けていくのは「やや+かなり」難しい人では、「介護のために在宅勤務を利用しながら働いている」が他の区分に比べて多くなっています。
- 前回調査と比べると、問題はあるが、何とか続けていける人、続けていくのは「やや+かなり」難しい人ともに「介護のために休暇を取りながら働いている」が多くなっています。さらに、続けていくのは「やや+かなり」難しい人では「介護のために労働時間を調整しながら働いている」「介護のために在宅勤務を利用しながら働いている」も多くなっています。

【働き方の調整(MA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

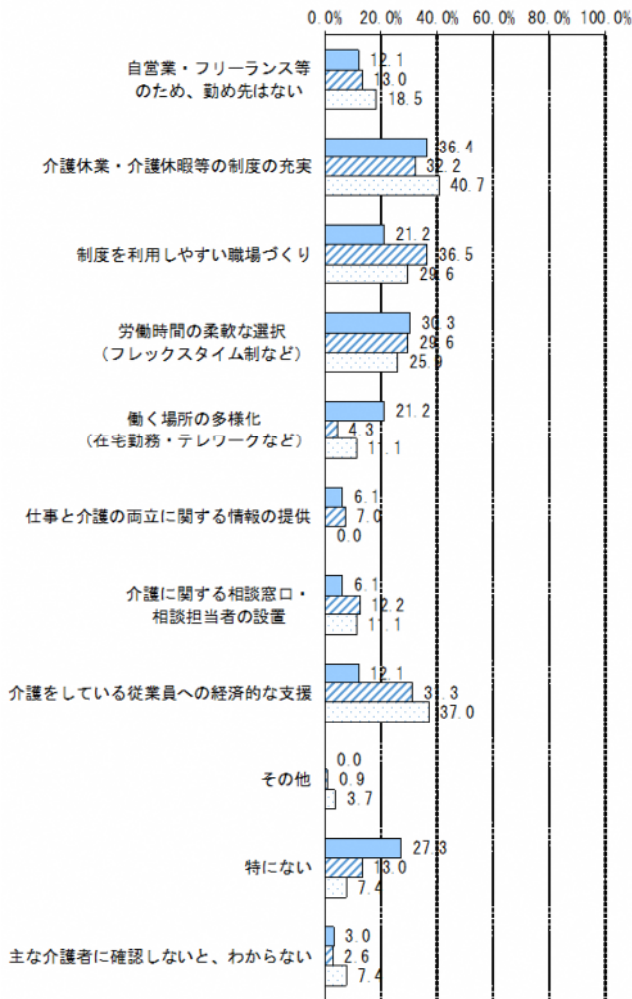
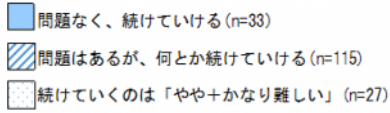


【今後の仕事と介護の両立】

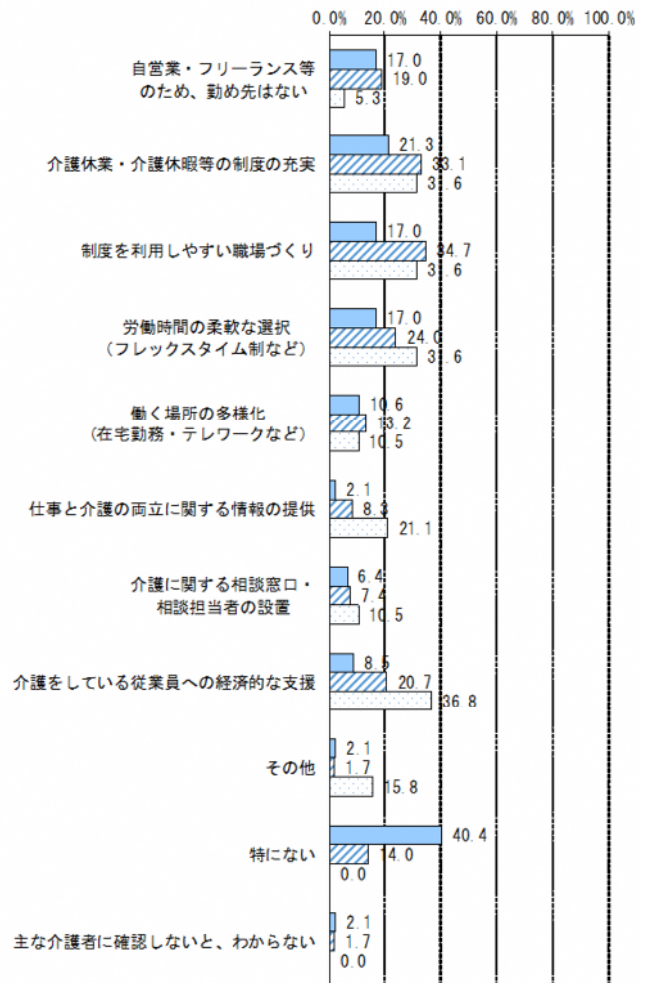
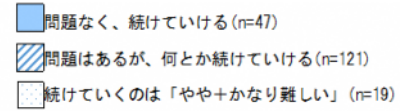
- 就労の継続に問題がある人では問題がない人に比べて、「制度を利用しやすい職場づくり」「介護をしている従業員への経済的な支援」が多くなっています。
- 就労の継続が困難になるほど「特にない」が少なくなる傾向がみられます。
- 前回調査と比べると、問題なく、続けていける人でもほとんどの項目で多くなっています。

【仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援(3LA)】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



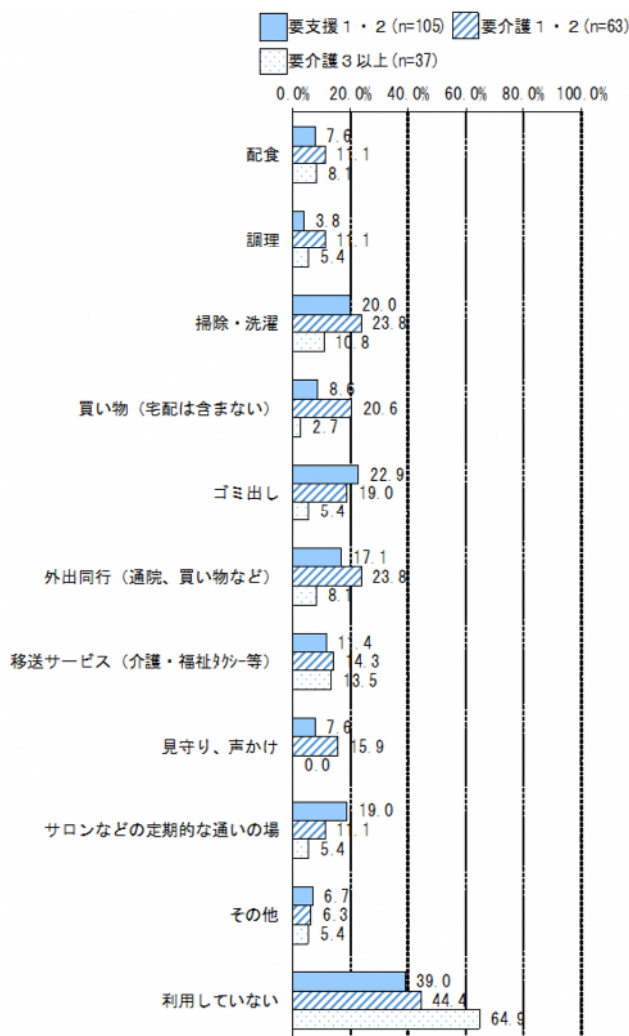
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

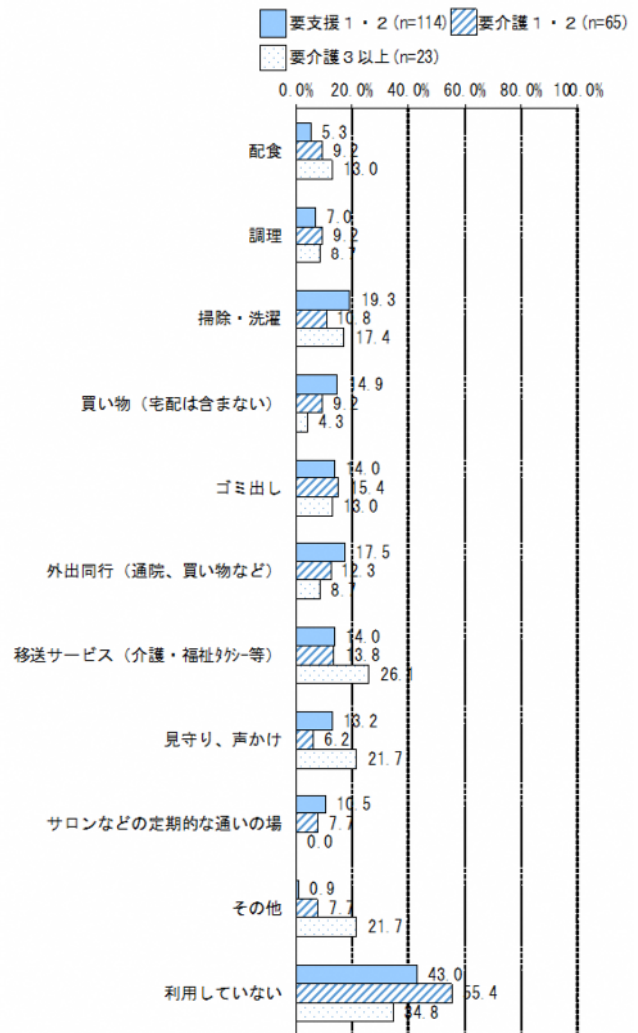
- 【要介護度】**
- 単身世帯では、要介護度が高くなるほど「利用していない」が多くなる傾向がみられます。要介護2以下で、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」「外出同行（通院、買い物など）」が約2割と多くなっています。
 - 「サロンなどの定期的な通いの場」は、単身世帯の要支援1・2で19.0%と多くなっています。
 - 前回調査と比べると、要支援1・2で利用している人が多くなっています。要介護1・2では「掃除・洗濯」「買い物」「外出同行」「見守り・声かけ」が多くなっています。要介護3以上では「利用していない」が多くなっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA) 要介護度（単身世帯）】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



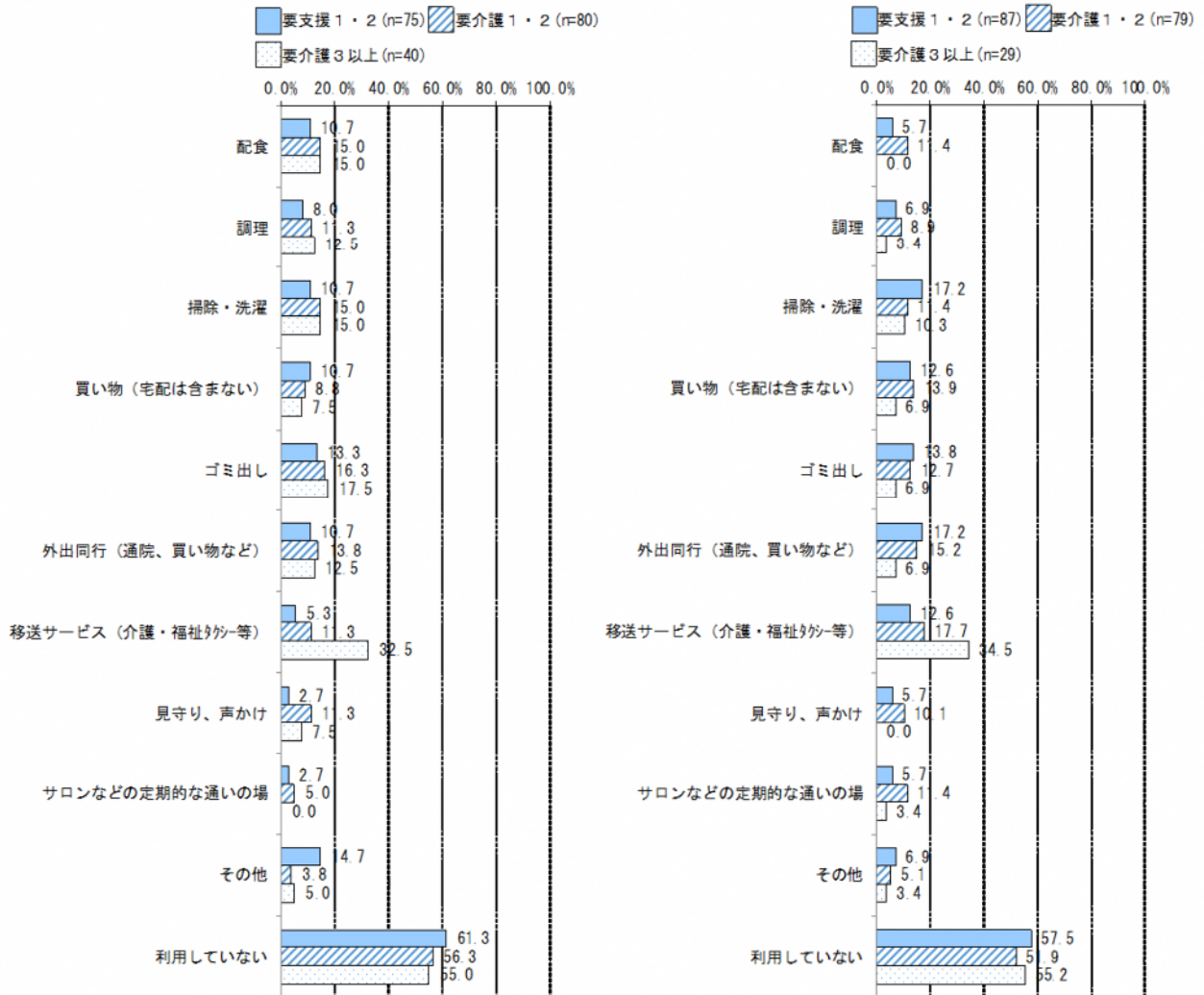
【要介護度】

○ 夫婦のみ世帯では、いずれの要介護度でも「利用していない」が約6割となっており、単身世帯と比べて要介護2以下の利用者が少なくなっています。要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.5%で最も多くなっています。

【「介護保険サービス以外」の支援・サービスの利用状況(MA) 要介護度（夫婦のみ世帯）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



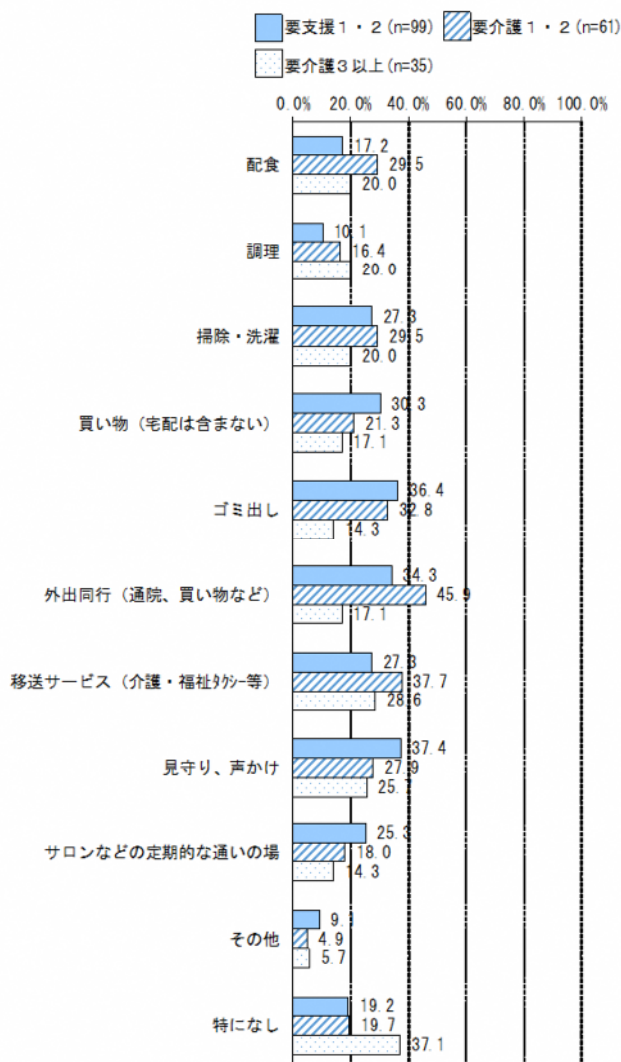
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

【要介護度】

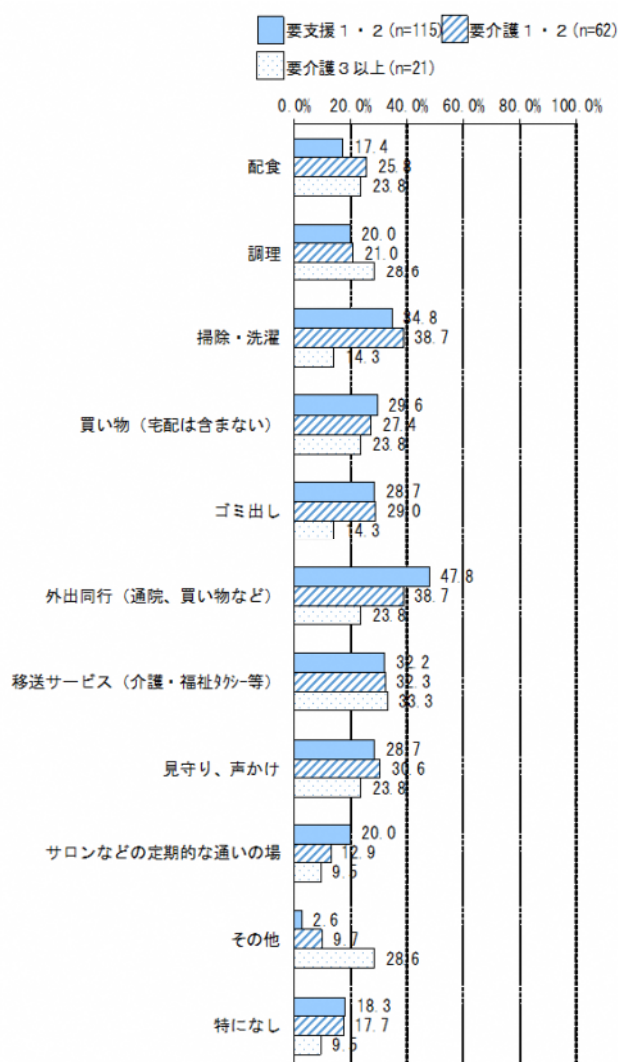
- 単身世帯では、要介護2以下で「特になし」が約2割であるのに対し、要介護3以上では37.1%と多くなっています。
- 「買い物（宅配は含まない）」「ゴミ出し」は単身世帯の要支援1・2で特に多くなっています。
- 要支援1・2をみると、「サロンなどの定期的な通いの場」は、単身世帯（25.3%）と夫婦のみ世帯（5.6%）で大きな差がみられます。
- 「見守り、声かけ」は要介護度によらず単身世帯で多くなっています。
- 前回調査と比べると、要介護2以下では「サロンなどの定期的な通いの場」が多くなっています。さらに、要支援1・2では「ゴミ出し」「見守り、声かけ」も多くなっています。要介護3以上では「特になし」が多くなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA) 要介護度（単身世帯）】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



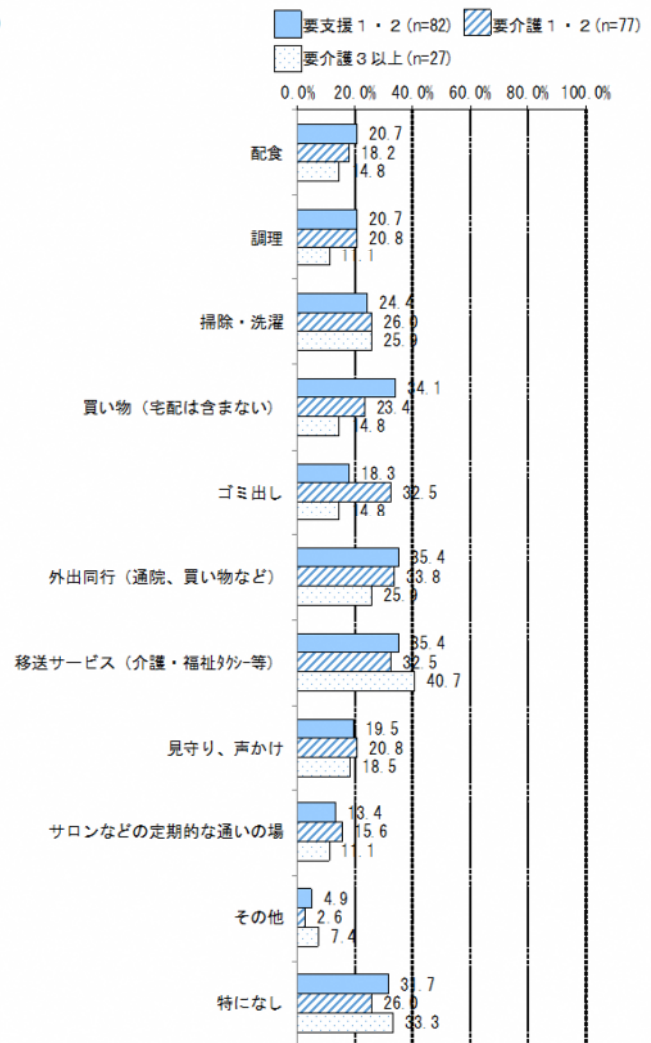
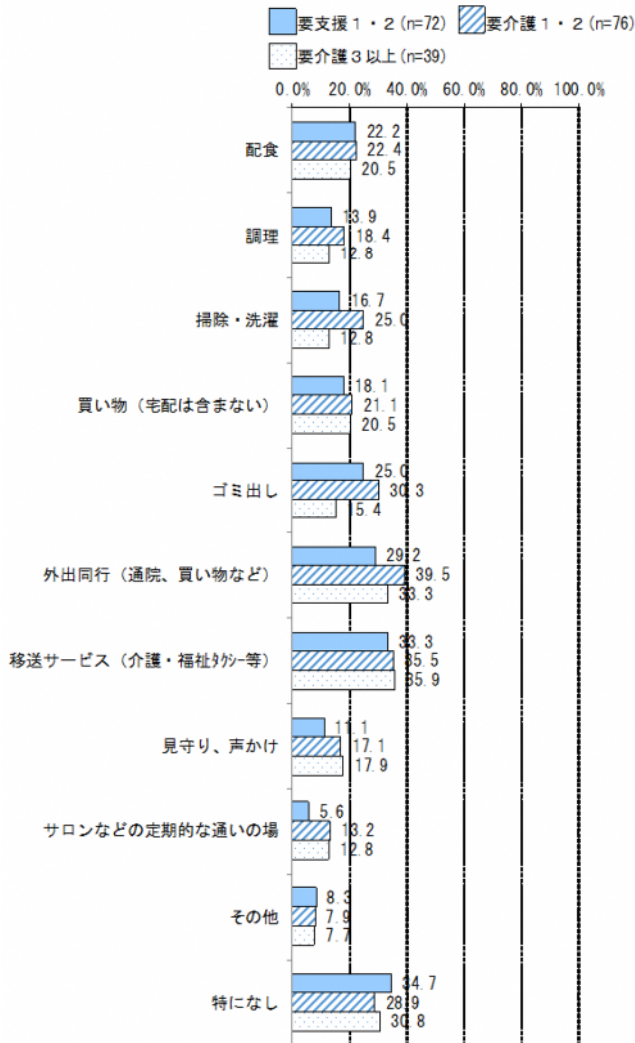
【要介護度】

- 夫婦のみ世帯では、「特になし」がいずれの要介護度でも約3割となっています。
- 要介護3以上をみると、「外出同行（通院、買い物など）」は、単身世帯では17.1%であるのに対し、夫婦のみ世帯では33.3%と多くなっています。
- 前回調査と比べると、要支援1・2では「ゴミ出し」、要介護1・2では「外出同行」が多くなっています。要介護3以上では「配食」「買い物」「ゴミ出し」「外出同行」が多くなっています。

【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA) 要介護度（夫婦のみ世帯）】

[今回調査 (R5 年度)]

[前回調査 (R2 年度)]



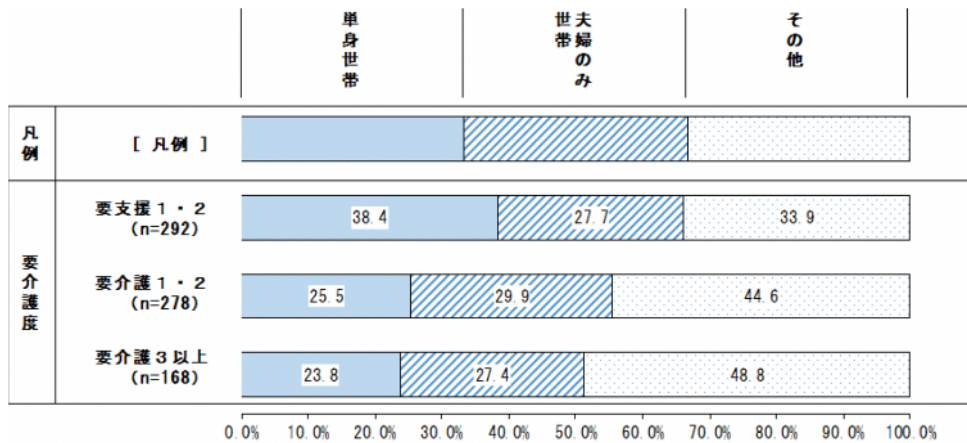
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型と要介護度

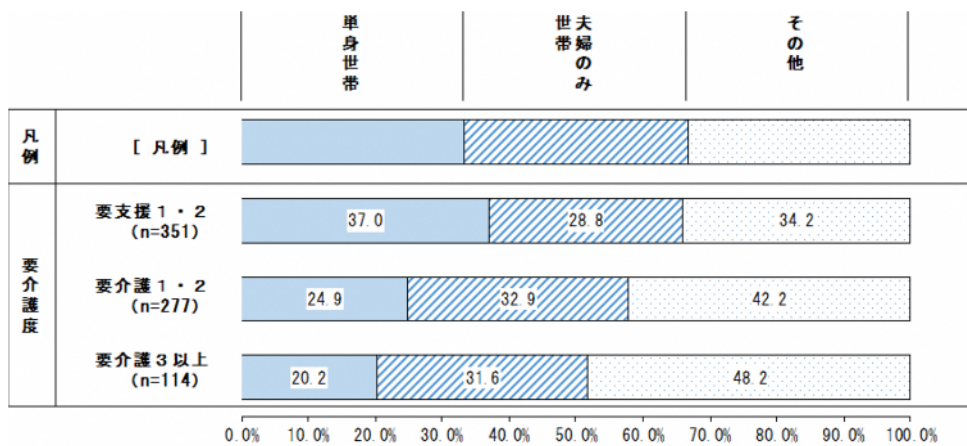
【要介護度】
 ○ 要介護度が高くなるほど「単身世帯」が少なく「その他」が多くなる傾向がみられます。

【世帯類型】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

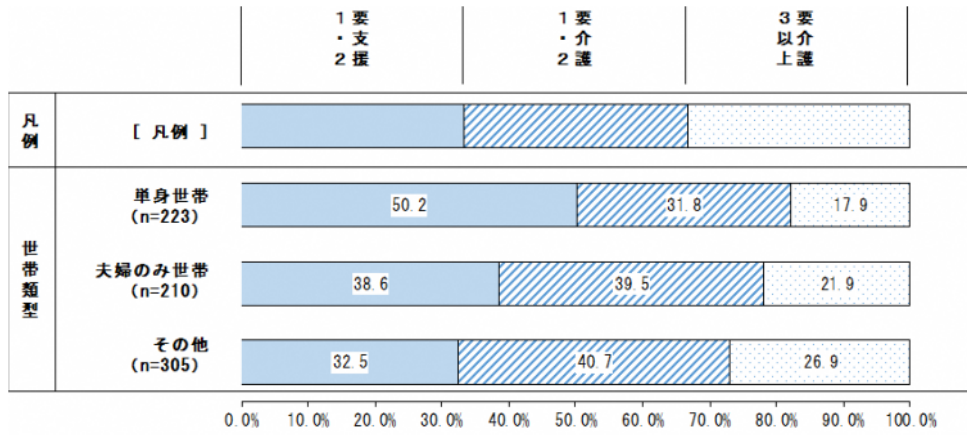


【世帯類型】

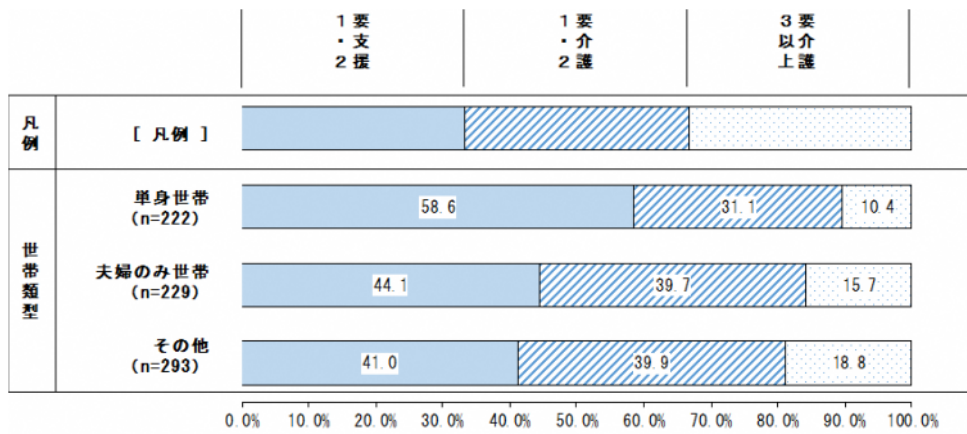
- 「要介護3以上」は、単身世帯では17.9%、夫婦のみ世帯では21.9%となっています。
- 前回調査と比べると、いずれの区分でも「要介護3以上」が多くなっています。

【要介護度】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



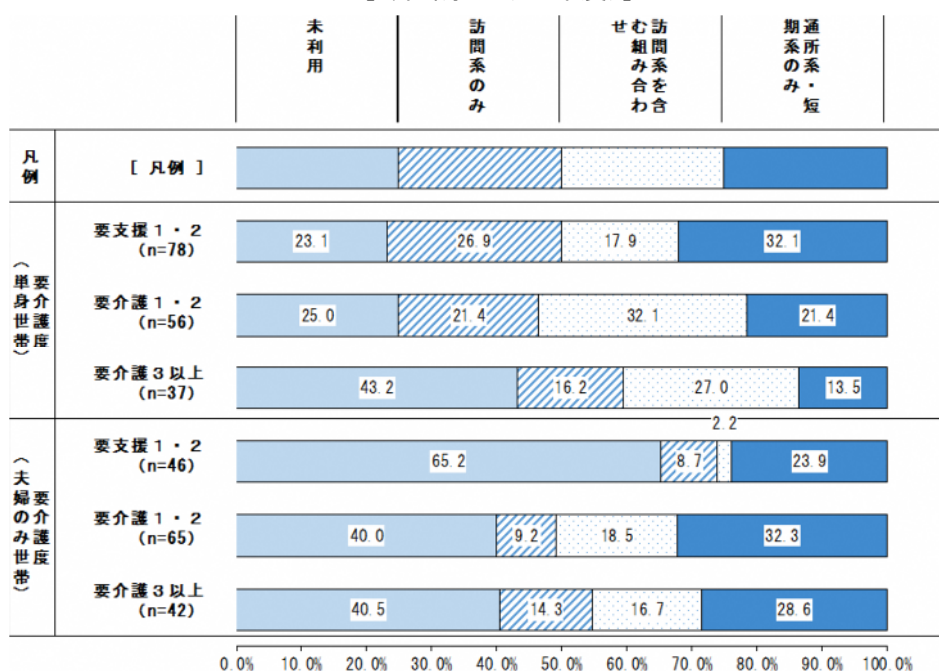
② 世帯類型ごとのサービス利用の特徴

【要介護度（世帯類型別）】

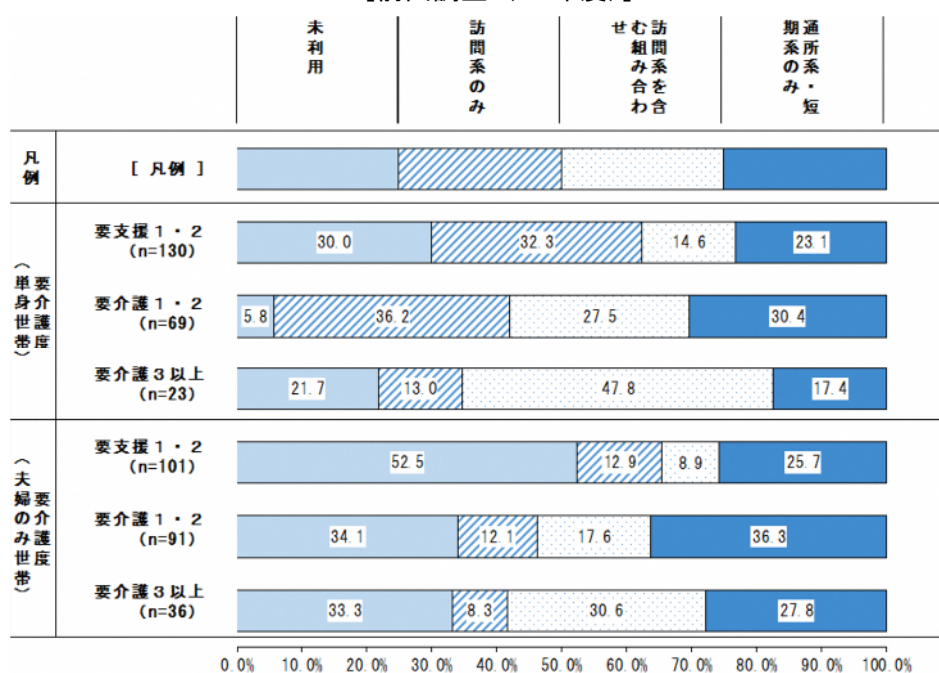
- 単身世帯では要介護3以上で「未利用」が多くなるのに対し、夫婦のみ世帯では要介護1以上で少なくなっています。
- 単身世帯の要介護2以下では「訪問系を含む組み合わせ」が夫婦のみ世帯に比べて多くなっています。
- 前回調査と比べると、単身世帯では要介護1以上、夫婦のみ世帯ではいずれの要介護度でも「未利用」が多くなっています。

【サービス利用の組み合わせ】

[今回調査（R5年度）]



[前回調査（R2年度）]



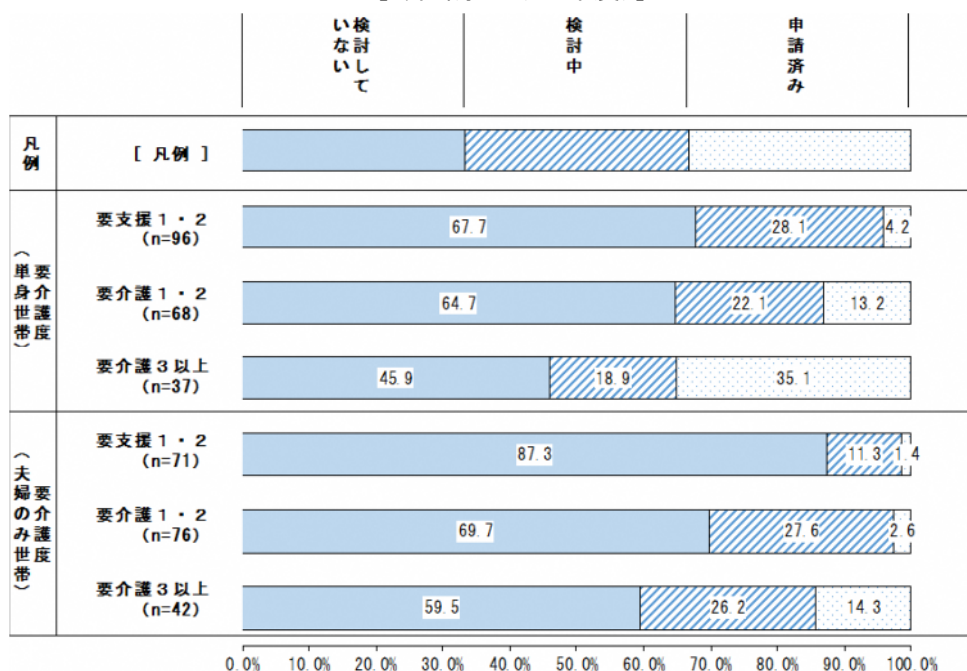
③ 世帯類型ごとの施設等のニーズ

【要介護度（世帯類型別）】

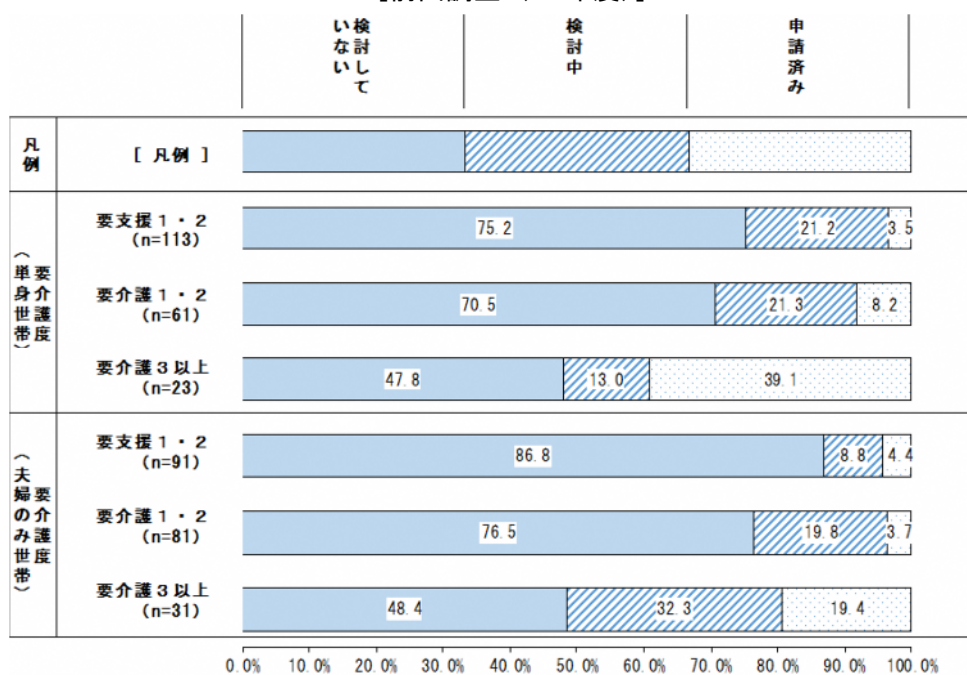
- 単身世帯では夫婦のみ世帯に比べて、いずれの要介護度でも「申請済み」が多くなっています。
- 単身世帯では要介護3以上で「申請済み」が急増するのに対し、夫婦のみ世帯では要介護3以上でも14.3%となっています。
- 前回調査と比べると、単身世帯では要介護2以下で、夫婦のみ世帯では要介護1・2で「検討していない」が少なく「検討中」もしくは「申請済み」が多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

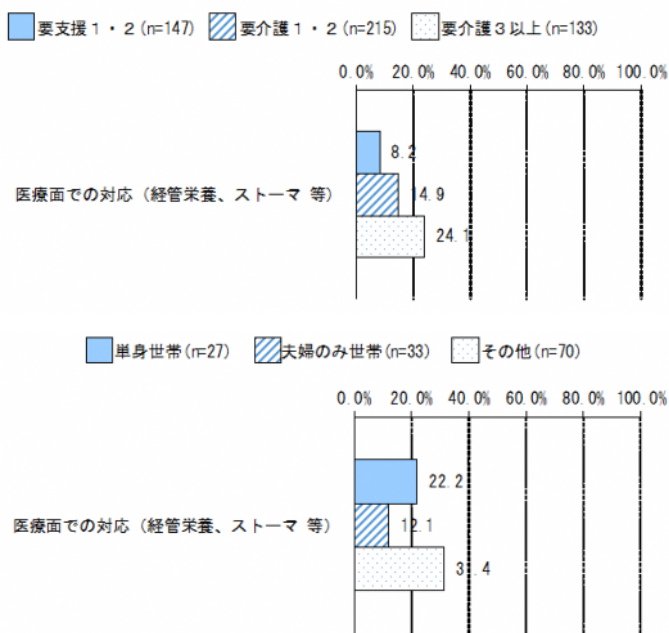
① 医療ニーズの高い在宅療養者

【要介護度】
 ○ 要支援1・2、要介護1・2では「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」を行っている人は約1割であるのに対し、要介護3以上では24.1%となっています。

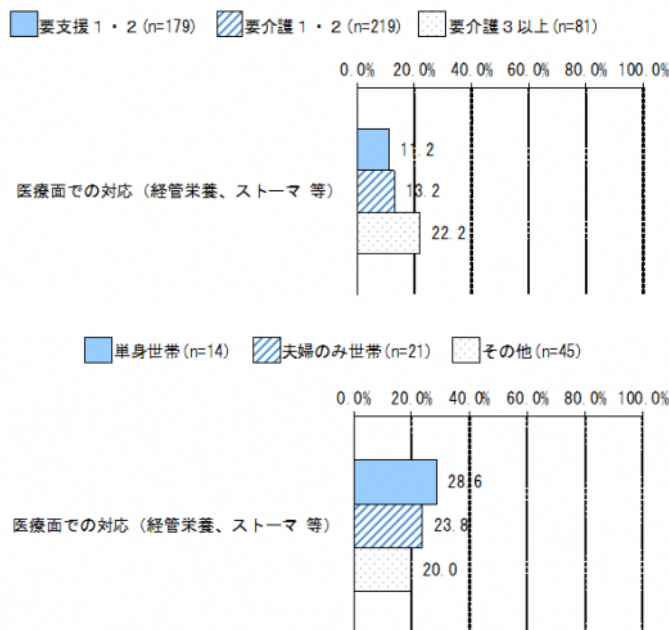
【世帯類型（要介護3以上）】
 ○ 単身世帯では22.2%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)（医療面での対応のみ抜粋）】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]



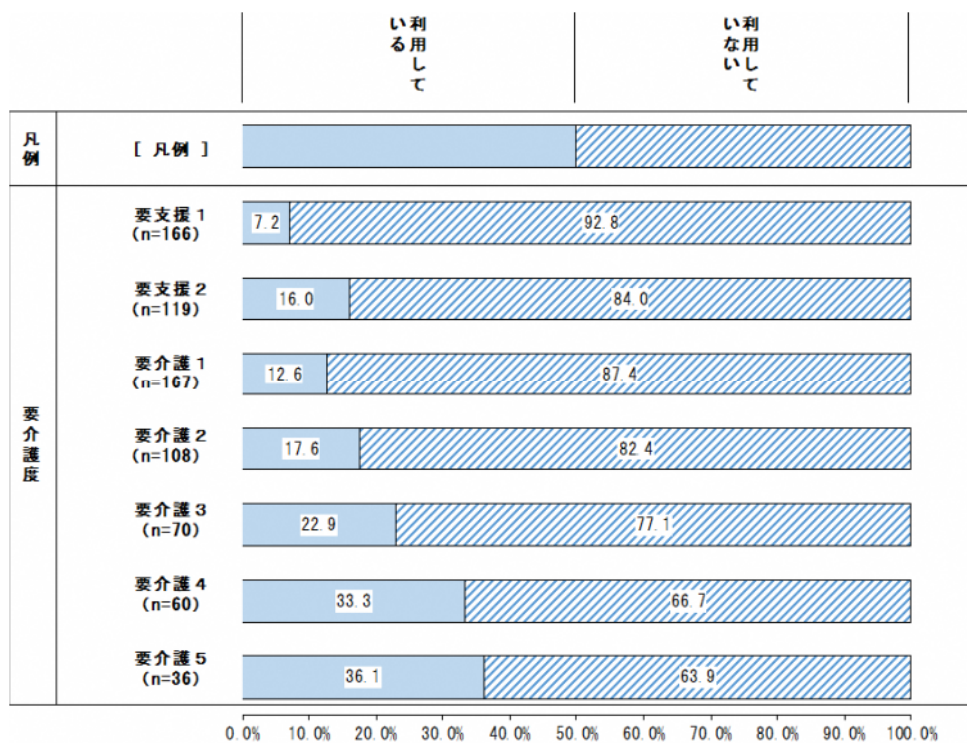
② 訪問診療利用者におけるサービス利用の特徴

【要介護度】

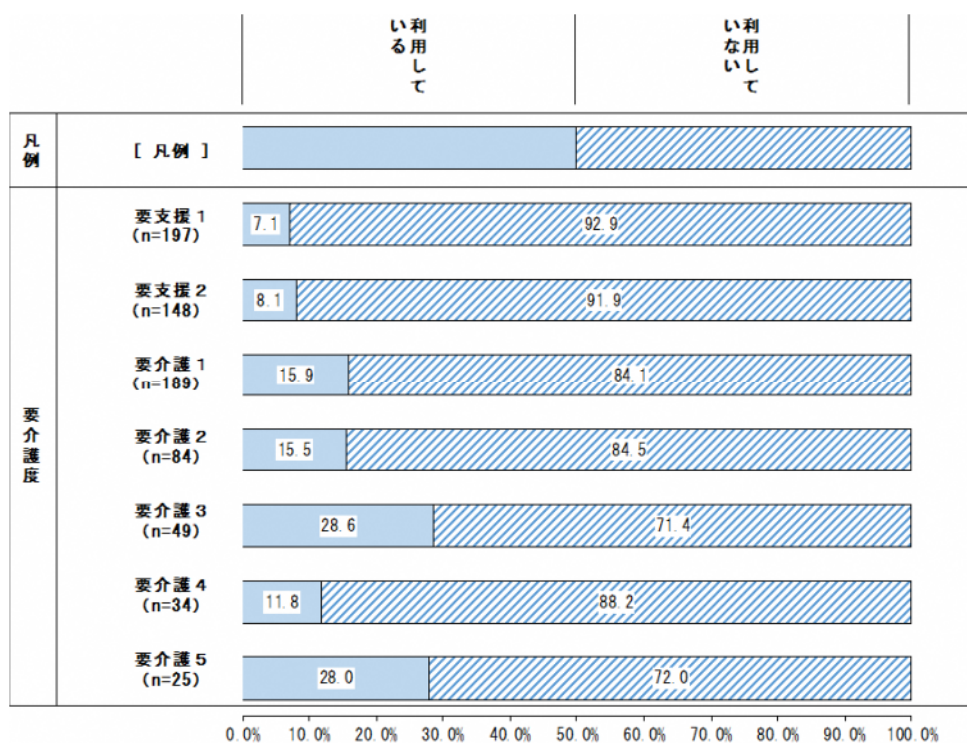
- 要介護度が高くなるほど「利用している」が多くなる傾向がみられ、要介護4以上では3割以上となっています。

【訪問診療の利用状況】

[今回調査 (R5 年度)]



[前回調査 (R2 年度)]

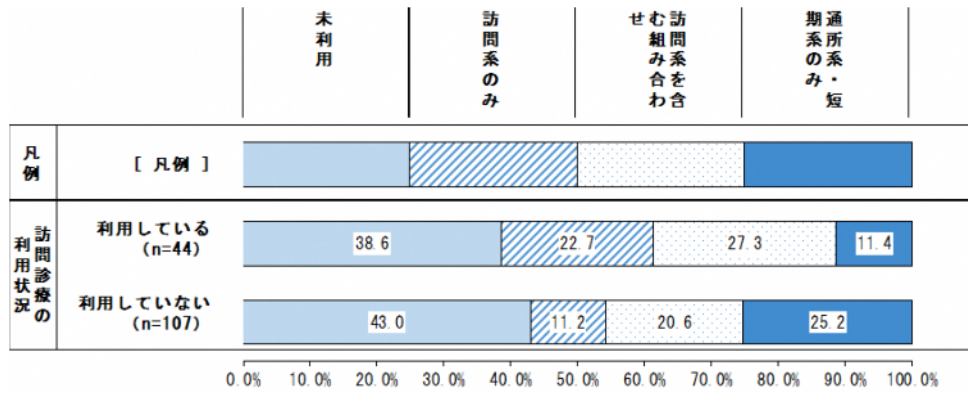


【サービスの利用状況（要介護3以上）】

- 要介護3以上で訪問診療を利用している人では利用していない人に比べて、「訪問系のみ」が多くなっています。

【サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

[今回調査（R5年度）]



[前回調査（R2年度）]

